

平成18年4月にオープンした「川口市立アートギャラリー・アトリア」。平成15年に閉鎖されたサポロビル工場の跡地に誕生したアート施設だ。施設内はガラス張りでもとも明るく、工場だった頃の松杭を再利用したというフロアリング（ギャラリーには珍しい）は、とてもあたたかみを感じさせる。生が広がる、市民の憩いの場になっている。ときどき、外で遊んでいる子どもが、ひとりでひいっと中にはいって来ている空間だ。

アトリアでは、主に5つの柱——「企画展と関連事業」「ワークショップなど」の創作体験、「講座（たのしい実技講座）ややさしい鑑賞講座」、「連携事業（地域連携・学校連携）」、「貸ギャラリー事業」を軸に、地域・市民とアートを繋ぐことを第一に活動をしている。取材時には毛糸を使ったワークショップが開催されており、子どもたちが自由にのびのびと作品づくりに取り組んでいた。ひとつの完成形を目指すのではなく、アトリアに触れ創造的な活動すること自体が、このワークショップの目的だ。



次回のワークショップ情報

『川口「音拾い」さんぽ』
日時:2015.3/22(日) 13:30~16:00
参加者:小学生と保護者のペア 7組
参加費:500円(1組)
講師:川崎義博(サウンドアーティスト)
応募締切:3/4(水)必着
※詳しくはホームページをご覧ください。

川口市立アートギャラリー・アトリア
川口市並木元町1-76 ☎048-253-0222 <http://www.atlia.jp/>
営10:00~18:00 (※企画展により土曜のみ20:00まで開催)
休月曜 (※月曜が祝日の場合はその翌平日)・年末年始・施設整備期間



川口アート! Kawaguchi Art!

川口といえば?まずは鋳物。それに植木、職人の街——
1964年東京オリンピックの聖火台が川口鋳物だった!
ということで、オリンピック熱が高まる今、
川口が注目されている。
鋳物をはじめ川口は「ものづくりの街」として発展。
現在でも、街のあちこちにオブジェが飾られていたり、
アートイベントやクラフトマーケットが開催され、
大小さまざまな画廊が点在している。
今回はそんなアートのステーション
川口の場所、モノ、人をご紹介します!



埼玉ブレイク“AR”もチェック!

埼玉ブレイクの誌面にスマートフォンをかざすと隠れた
ヒミツのアイテムや動画が飛び出します!まずは、専
用アプリ「Junaio」を右のQRコードからダウンロード!
使い方は右記のSTEP1~3を参考にやってみよう!
★今回は2つあります(閲覧有効期間は2015年4月30日まで)



- ARの使い方
- STEP 1 専用アプリ「Junaio」をApp StoreまたはGooglePlayでダウンロード!(無料)
 - STEP 2 アプリを起動し、左上の虫眼鏡のアイコンから「埼玉ブレイク」を検索!
 - STEP 3 「埼玉ブレイク」のチャンネルを選択してカメラを起動、誌面全体にかざすとお得な情報や動画などを見ることができます!
※誌面全体が入るようにしてください。